

2014年11月27日



福島県に

オリジナルスイーツとくつろぎの時間が楽しめる新しい列車 がデビューします

～ 走るカフェ「フルーティア」～

JR東日本では、福島県における観光流動の拡大を図る様々な取組みを行っております。これらの取組みの一環として、より一層多くのお客さまに福島県においでいただくため、来春のふくしまデスティネーションキャンペーン開催期間中に、「走るカフェ」をコンセプトとした乗って楽しい列車「フルーティア」の運転を磐越西線郡山駅～会津若松駅間でスタートします。

車内では、福島県産フルーツなどを使用したオリジナルスイーツや、ドリンク類をご用意する予定です。郡山駅～会津若松駅間の乗車時間は約1時間で、お茶をするのにちょうど良い時間。優雅な空間で、絶品のオリジナルスイーツやくつろぎの時間を堪能しながら、磐越西線の旅を満喫していただけます。福島県の新しい旅の魅力、「フルーティア」にどうぞご期待ください。

1 コンセプト

りんご・梨・桃・ぶどうなど様々なフルーツに恵まれたフルーツ王国 福島県。それら福島県産フルーツなどを使用したオリジナルスイーツや、ドリンク類を味わいながら、優雅な空間にて流れゆく車窓や会話などくつろぎの時間を楽しんでいただける「走るカフェ」がこの列車のコンセプトです。

2 車両愛称

「フルーティア」

車内で堪能していただくオリジナルスイーツに使う「FRUIT（果物）」と、この列車の基本コンセプトである「カフェ」をイメージさせる「TEA（お茶）」を組み合わせ命名しました。この列車のコンセプトを融合した分かりやすいネーミングです。



3 カフェサービス

車内では、「福島県産フルーツなどを使用したケーキやタルトといった絶品のオリジナルスイーツ」とドリンク類をセットにしてご提供する予定です。

4 運転計画

- (1) 運転開始時期 2015年4月下旬以降、土休日を中心に運転（予定）
具体的な運転日については改めてお知らせします。
- (2) 運転区間 磐越西線 郡山駅～会津若松駅間（予定）

5 車 両

- (1) 車両形式 719系2両を改造（カフェカウンター車両1両、座席車両1両）
- (2) 座 席 36名

(3) デザイン

エクステリアデザイン

赤瓦や黒漆喰壁、また明治大正時代の西洋モダンが織りなす沿線の独特な街並みや、雄大な自然との調和を表現しています。また、建築外板に使用されるような質感表現を車両デザインに取り入れ、新しいイメージの創出を目指します。

インテリアデザイン

明治大正時代の近代建築や会津塗のもつ豊かな質感を基本としてデザインし、くつろぎのひとときを提供します。

○ カフェカウンター車両

車両全長にわたる大きく伸びやかなカウンターが優雅な鉄道の旅を演出し、また自由に利用できるカウンター席を設定することで、車内での多彩な過ごし方を提供します。

○ 座席車両

おひとりさまからグループまで、全ての座席から車窓を眺めながらスイーツや会話をゆったりと楽しめる座席やテーブルの配置とし、お客さまに優雅な旅の時間を提供します。



エクステリアデザイン



インテリアデザイン(左:カフェカウンター車両、右:座席車両)

エクステリアデザイン及びインテリアデザインについては現在検討中のイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。

6 その他

運転日や座席の発売、車内で提供するメニューなどの詳細については、決まり次第、別途お知らせをいたします。

(参考) ふくしまステーションキャンペーン

2015年4月1日(水)から6月30日(火)までの3ヶ月間、JRグループが福島県・地元自治体・観光事業者等と連携して開催する大型観光キャンペーンです。